

| | | |
|---|--|--|
|  | <h2>豊橋日独協会</h2> <p>Japanisch-Deutsche Gesellschaft Region Toyohashi</p> <p>愛知県豊橋市駅前大通一丁目 55 番地 サータワー 中部ガス株式会社 秘書室内 (〒440-8531)</p> | [TEL] 0532-51-1205 [FAX] 0532-51-1274 [URL] http://www.jdg-toyohashi.com/ [E-Mail] jdtoyo@chubugas.co.jp |
|---|--|--|

2019. 3. 31 現在

| | | | |
|-----------|---|---|--|
| 役員 | 会 長：神野 吾郎 副 会 長：松井 孝悦、安達 眞啓、柿原ヤヨイ、大塩啓太郎、西島 豊 事務総長：伊藤 幸雄 事務次長：小野 全子 事務局長：福田 裕之 監 事：中谷 安伸、梶村 康彦 顧 問：佐原 光一（豊橋市長） |  会長 神野 吾郎 | |
| | 会 員 | | 法人会員 49 社、個人会員 176 名、学生会員 8 名 |
| | 年会費 | | 法人 20,000 円、個人 5,000 円、家族(2 名)8,000 円、学生 1,000 円 |
| | 設立年 | | 平成 3 年（1991 年）5 月 8 日 |

神野 信郎 名誉会長 ご逝去

1991 年の豊橋日独協会の立ち上げにご尽力されるとともに、佐々木慎一初代会長亡きあとを受け、2000 年 2 月の会長就任以来、18 年間にわたり日本とドイツの架け橋として情熱を持って様々な活動に取り組まれた神野信郎名誉会長が去る 2018 年 11 月 12 日に急逝（享年 88 歳）されました。これまでの長きにわたり神野名誉会長をお支えいただいた日独・日独協会関係者の皆さま、並びに会員の皆さまに改めて御礼を申し上げますとともに、故人のご冥福をお祈りいたします。

《 2018 年度 主な活動 》

2018 年 5 月 20 日（日）～5 月 22 日（火）

●「2018 年全国日独協会連合会年次総会」出席（出席者：8 名）

金沢市で開催された全国日独協会連合会設立 30 周年記念事業「日独交流国際会議 2018」に出席し、前夜祭、講演会、年次総会、歓迎パーティー、ワークショップ等を通して日独・日独協会関係者と交流を深めた。安達副会長が年次総会にて活動報告を、また西島副会長がワークショップにて日独交流成功事例のプレゼンテーションを行った。



2018 年 5 月 29 日（火）

●「豊橋日独協会 年次総会・懇親会」開催（参加者：83 名）

総会では 2017 年度事業報告並びに収支決算報告、2018 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)、役員人事、副委員長変更等について審議が行われ承認された。懇親会では、オープニングのピアノ連弾、ヴェルナー・ケーラー総領事の挨拶のあと、テーブル対抗ストラックアウトゲームやアヒルのダンスなどで会場は大いに盛り上がった。



2018 年 6 月 1 日（金）

●「ヴォルフスブルク日独協会」来豊対応（参加者：39 名）

同協会設立 35 周年を記念し、バローグ=クラウス輝子会長夫妻他一行 8 名が来豊された。豊橋駅での歓迎横断幕によるお迎えのあと、豊川稲荷参拝、二川本陣資料館見学、着付けとお茶の日本文化を体験され、当協会主催の歓迎交流会に出席された。神野名誉会長、神野会長をはじめとする多くの会員が参加し、和やかに歓談・交流が行われた。



2018年7月13日(金)～7月14日(土)

●「2018日本とドイツ・絆コンサート in 石巻」開催(参加者:4名)

西島副会長、産業交流委員会メンバーが、ドイツを中心に活動する5人の演奏家による石巻市内の雄勝小・中学校、石巻専修大学、万石ささえあい拠点センター、新虹田集会所の4ヶ所でのコンサートの設営協力を行うとともに、市内の被災者の方々と“石巻やきそば交流”などを実施し、交流を深めた。



2018年7月16日(月・祝) 海の日

●「とよはしみなとフェスティバル2018」参加(参加者:14名)

屋外テントではドイツソーセージをその場で茹でて焼いた出来立てのホットドックと入荷したてのドイツビールを販売し、お客さまに大好評だった。また、来場されたお子様向けの「ダーツゲーム」(無料)を企画したところ、300名以上のお子様に参加する大変人気のアトラクションとなった。



2018年7月25日(水)～7月28日(土)

●「第9回豊橋青少年オーケストラキャンプ」後援、協力

ブランデンブルグ国立管弦楽団フランクフルトの浮ヶ谷孝夫首席客演指揮者と一流演奏家17名を講師として招聘し、豊橋市内の小中高生200名余の演奏指導を行ったが、台風12号の影響により、最終日の「マエストロと夢見る若者たちのコンサート&交流会」はあいにく中止となった。当協会は、講師の接遇や通訳などの役割を担った。



2018年7月27日(金)

●「シュタムティッシュ・特別例会」開催(参加者:44名)

オーケストラキャンプの外国講師の方々17名をお迎えし、当協会会員他27名とともに「お寿司」を楽しみながら和やかに交流を行った。セレモニーと記念撮影のあと、回転寿司のカウンター席に5～6名程に分かれて座り、携帯端末による注文などを実際に体験され、大きなネタの美味しいお寿司と各種日本料理を堪能された。



2018年8月7日(金)

●「ドイツフェア開催記念セレモニー」開催(参加者:103名)

豊橋市の「食の交流」事業としてヴォルフスブルク市から来日したドイツ人シェフ、ダニエル・クルーゲ氏とホテルアークリッシュ豊橋が、ドイツ料理とフレンチのコラボレーション企画を1ヶ月間行った。初日はセレモニーが開催され、豊橋日独協会会員、市役所関係者など大勢が集い、シェフの美味しい料理とドイツビールを堪能した。



2018年8月9日(木) ※新規事業

●「フォルクスワーゲン工場見学ツアー」開催(参加者:20名)

小学校5・6年生を対象とした夏休み特別見学ツアーを企画したところ、200名を超える方々から応募があり、抽選で20名を決定してツアーを実施した。当日は、事前説明のあと、昼食で「カーリヴルスト」をいただき、テクニカルサービスセンター、港、パーツセンターなど各施設を順次見学した。本事業は、次年度以降も継続して実施する。



2018年10月7日(日)

●「第18回親睦ゴルフコンペ」開催(参加者:8名)

当初、台風接近で参加予定者のキャンセルもあったが、当日は台風一過の青空が広がり、東海CC(豊川市)において無事開催することが出来た。総勢8名が参加し、それぞれ懇親を深めるとともに、有意義な時間を過ごす事ができた。

(優勝:河合秀敏、2位:長神友昭、3位:宮川直樹)



2018年10月14日(日)

●「第4回ヴォルフスブルク市交流絵画コンクール表彰式」

2011年6月の豊橋市とヴォルフスブルク市とのパートナーシティ協定の提携を機に、子供たちの作品交流を通じて両市の一層の友好を促そうと2012年度にスタートした。当協会の柿原副会長がヴォルフスブルク市長賞、並びに豊橋日独協会会長賞の受賞者4名に対し、表彰状と記念品の授与を行った。



2018年10月20日(土)～21日(日)

●「第64回 ええじゃないか豊橋まつり」参加(ブース出展)

東京オリンピック・パラリンピックの「ドイツ」・「リトアニア」のホストタウンである豊橋市の「PRブース」と併設してブース出店し、会員交流委員会が主体となって、ドイツ三色ソーセージの販売と三つ折パンフレット配布による当協会のPR活動を行った。



2018年11月18日(日)

●「とよはしインターナショナルフェスティバル2018」参加

「平和・交流・共生のまち」をテーマに、国際交流を楽しむフェスティバル。当協会として2017年度の活動内容をパネルにまとめ、作成・展示し、豊橋市民並びに在住外国人の方々にご覧いただいた。



2018年11月21日(水)

●「武蔵精密工業株式会社 企業視察会」開催(参加者:18名)

2016年にハイホールディング・ゲーエンバーを買収し、ドイツとの関係が大変深い武蔵精密工業の視察会を実施した。当日は、鍛造・切削・熱処理・仕上げ・組立に至る各行程が有機的に連結された一貫生産ラインやAIを用いた自動検査装置などを見学させていただいた。同社のすばらしい対応を含め、参加者は充実した時間を過ごした。



2018年12月9日(日)

●「豊橋交響楽団 第123回定期演奏会」協力(パネル展)

豊橋交響楽団が定期演奏会にモーツァルトの音楽を取り上げるのを機に、豊橋市が東京オリンピック・パラリンピックの「ドイツホストタウン」であることの盛り上げを図るため、豊橋日独協会の歴史や活動内容を紹介した「パネル展」を会場エントランスホールにて開催し、来場者の皆さんに観覧いただいた。



2018年12月24日(月・休) ※新規事業

●「X'mas Stammtisch Party & Market 聖夜のピアガーデン」開催(参加者:550名)

【目的】豊橋市民に新しいクリスマスの過ごし方を提案するとともに、会員拡大を促し、当協会の更なる成長に繋げていく。

当日は冬晴れの好天に恵まれ、500名を超える大勢の方々が来場された。先着300名様への手作りシュートレンのプレゼントや豊橋日独協会オリジナルマグカップの提供のほか、ドイツ郷土料理やグリューワインなどの飲食ブース、地元食材やクリスマス雑貨などの物販ブース、ハーバリウムのワークショップなど数多くのブースが並び、仲間同士や親子連れでイベント会場は大いに賑わった。

夕方からは地元豊橋のゴスペルグループ・Gospel-Mのクリスマスソングを皮切りに、神野会長の開会挨拶、佐原豊橋市長の来賓挨拶でクリスマスパーティーが幕を開け、豊橋少年少女合唱団・Gospel-Mの特別コンサートやアヒルのダンスなどで会場は大いに盛り上がった。



2019年1月30日(火)

●「2019年・新年会」開催(参加者:71名)

2018年11月にご逝去された神野信郎名誉会長を偲んだ「追悼企画」のあと、神野吾郎会長の挨拶、年男・年女の皆さんによる乾杯で新年会がスタートした。会員交流委員会が企画したラグビーワールドカップ2019にちなんだラグビーシュートゲーム、恒例のアヒルのダンス、全員合唱などで、新年会にふさわしい楽しい会となった。



2019年2月10日(日)

●「第17回とよはしまちなかスロータウン映画祭」協賛(入場者:262名)

ドイツが抱える難民受け入れ問題をユーモアたっぷりに描きながら、人間同士の繋がりの大切さをも綴ったドイツ映画『はじめてのおもてなし』に協賛するとともに、チケットの販売協力を行った。

2019年3月21日(木・祝)

●「日帰りバスツアー」(参加者:18名)

当日はすっきりしない雨模様の天気となったが、富士山を中心とした日本の自然・文化の素晴らしさを体感すべく、「富士山本宮浅間大社」逆さ富士を象徴した「富士山世界遺産センター」を訪問した。その後、「バイエルンマイスタービール」で美味しい地ビールとドイツ料理を堪能し、「白糸の滝」を見学後、帰路に着いた。



2019年3月22日(金)

●「ドイツ関連講演会&シュタムティッシュ」(参加者:約50名)

元在ドイツ日本大使館・特命全権大使の中根 猛氏を講師にお迎えし、『最近のドイツの状況』をテーマにドイツ関連講演会を開催した。講演会終了後は、「穂の国豊橋ハーフマラソン」に参加するヴォルフスブルク市の市民ランナー男女各1名と随行者2名、計4名のゲストをお迎えし、月例会「シュタムティッシュ」を開催した。



● シュタムティッシュ(毎月1回開催、於:ビアホール「独逸」)

来豊されたドイツからのお客さまの接遇や新規入会希望者との懇談の場。毎回20~30名の参加者が集い、有意義な交流の場となっている。

● ドイツ語教室(上級・中級ドイツ語講座)

上級・中級クラスとして、春季・秋季で延べ38回開催(参加者:延べ36名)
(※初級クラスは休講中)

● 常任理事会、委員長会議

「常任理事会」(2・4・9月)、「委員長会議」(年間9回)を開催し、当協会の事業計画、事業予算、および役員人事等について審議を行った。

以上